

駐日サウジアラビア王国特命全権大使講演

My First Home in Japan

日本における初めての我が家

11 / 15 Fri

16:30~17:30

宮崎国際大学 307教室

まるで我が家に帰るように宮崎国際大学に帰ってきました。

あの頃の心あたたまる時間や確かな未来を予言するような夜明け、そして私を一人の人間として成長させてくれた人生の一章が思い出されるのです。ここでは私は1人の学生に戻ります。

なぜならここで学んだことは決して終わることはないからです。

本日は、日本とサウジアラビアの関係についての私の理解と、私のこれまでの学びが大使としての仕事を遂行するのにどのように役立ったかをお話しします。

PROFILE ▶ ナーフ・マルズグ・アルファハーディ/ Nayef M. Al-Fahadi 駐日サウジアラビア王国特命全権大使



ナーフ氏は、金融サービスや政府の問題に広く経験を有するサウジアラビアの弁護士であり、公共部門の運営と政策を遂行してきた。2012年、サウジアラビア・諮問評議会=Shura Councilのメンバーに任命された。2015年5月東京で開催された『世界の若い議員と語り合うグローバル・オピニオン・サミット』にサウジアラビア代表団のリーダーとして来日し会議に出席した。同氏は、サウジアラビア王国の多くの政府官僚の顧問を務めると同時に多数の公的部門・民間部門の取締役を勤めている。またサウジアラビアの未来の若手リーダーを育成する機関『ミスク財団=Misk Foundation』の理事である。同氏は、現在ガバナンスと商法を専門とする法律事務所のナーフ・コンサルティングのパートナーであり、さらにサウジを拠点としてガバナンス、リスクおよびコンプライアンス(GRC)に特化した独立組織の『KUBERNAO GRCアドバイザーズ』の創設者でもある。

その前、同氏はNCBキャピタルにて一般理事として会長および取締役会の顧問を務め、同社のガバナンスの枠組み構築、会社法関係事項の企画・遂行について責任を担っていた。NCBキャピタルに入社以前、同氏はサウジの銀行関係紛争処理委員会の調査員として働き、それ以前は紛争の解決のための委員会の研究者であった。その前、同氏は銀行・金融研究所の教員であった。同氏はオーストラリアの法律の大学院で二重学位、日本では学士号を取得している。同氏は1999年に比較研究を専門として宮崎県の宮崎国際大学を優秀な成績で卒業した。



宮崎国際大学
Miyazaki International College

〒889-1605 宮崎県宮崎市清武町加納丙1405番地
TEL:0985-85-5931

対称：一般、本学学生
※講演は英語で行われます。
※申込み不要・参加無料